

平成23年度事業シート(概要説明書)《※平成22年度実施事業》

事業の概要	事務事業名	システム開発支援事業						担当部	総務部		
	会計区分	一般会計			事業類型	一般		担当課	情報システム課		
	事業期間	平成12年度以前			～	平成30年度以降		担当係	情報処理係		
	総合計画 分野別計 画	主目的	7 行政経営		31 情報の共有化		4 情報化の整備を図る				
		副目的									
	予算区分	款	2	項	1	目	7	大	3	中	2
	根拠法令・個別計画										
	実施・運営 方法	<input type="radio"/>	市が直接実施・運営			<input type="checkbox"/>	地域住民組織		<input type="radio"/>	一部又は全部委託	
			指定管理・外郭団体			名称:					
			NPO・その他			名称:					
目的 (対象をどの様な状態にするのか)	システム開発に係る分野の支援委託を行うことにより、市の保有するコンピュータの最適な稼動を保ち、電子自治体の推進を実現していく。										
内容 (手段)	コンピュータを稼動させるためのオペレーティングシステムやプログラムの不具合への対応、各種機器間の接続や異常発生時の復旧等の職員だけでは早急な対応の難しい業務を民間業者に支援委託し、機器の安定稼動を図った。また、担当課所管の緊急的なプログラム修正を行った。										
受益者負担	無	内容									

		単位	H21決算額	H22決算額	H23予算額	
コスト	直接経費		千円	22,623	20,828	26,145
	正職員	従事者数	人	5.45	5.45	5.45
		人件費	千円	29,239	29,239	29,239
	その他職員	従事者数	人	1.00	1.00	1.00
		人件費	千円	2,028	2,028	2,028
	費用合計		千円	53,890	52,095	57,412
	対前年比		%		96.6	
財源	一般財源		千円	53,890	52,095	57,412
	国・県支出金		千円	0	0	0
	その他財源		千円	0	0	0

業	活動指標	活動指標名	単位		H21	H22	H23
		績	専門要員(システムエンジニア)委託		業務	目標	—
実績	2					2	
システム障害等の復旧	件		目標	—	—	—	
			実績	23	29		
臨時的なプログラム開発	件		目標	—	—	—	
			実績	1	2		
成果指標名	単位			H21	H22	H23	
				専門要員(システムエンジニア)委託によるホストコンピュータの安定稼働	業務	目標	—
システム障害等の適切な復旧による影響拡大の抑止	件	目標	—	—	—		
		実績	23	29			

事業の自己評価(一次評価)	事業目的の達成状況	コンピュータのオペレーティングシステムやプログラムの不具合に的確に対応し、各種異常発生時の復旧等の職員だけでは早急な対応の難しい業務を適切な支援が図られた。		
	事業を廃止・休止したときの影響	ホストコンピュータの安定稼働について、リスクの増加が想定される。		
	判定	B	市が実施(改善が必要)	
	判定理由	現行システムの安定稼働に加え、電子自治体実現への取組みについても、今後は重点を移行していく必要がある。		
	今後の事業の方向性(今後の取組み・改善計画等)	電子自治体の推進に寄与するよう、市の情報システム全般の最適化を進める。そのための手法の1つとして、従来実施してきた自治体EAを今まで以上に積極的に実施する。 ※EA(エンタープライズアーキテクチャ)とは組織全体を通じた業務・システムの最も適切な計画を立て、図表などによって表す手法を言います。 自治体EAは、従来は紙や口頭で行っていた業務も含め、地方自治体における行政改革の視点を取り入れて、仕事のやり方自体の見直しはもちろん、どこまでの業務を情報システムでカバーするか、住民の視点に立った窓口サービスをどう実現するかといっ		

二次評価	判定	B	市が実施(改善が必要)	
	判定理由	一次評価のとおり		